

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 377 事業名 難病患者居宅生活支援事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		地域保健費
	大事業		地域保健事業
	事項		難病患者居宅生活支援事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
取組	2	難病対策の普及・啓発

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次(433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
難病患者等が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣し、介護・家事支援を行うことにより在宅療養生活の向上を図る。	①難病患者等ホームヘルプサービス事業 和歌山市社会福祉協会と委託契約を行い、家事援助・介護援助を実施している ②難病患者等短期入所事業 平成11年より市内4病院と契約を行い、実施している ③難病患者等日常生活用具給付事業 特殊マット・特殊寝台・電気式痰吸引機・車イス・動脈血中酸素飽和度測定器等給付を実施している 現在①2名②0名③2件				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	難病患者が居宅において、日常生活を営むことができるようホームヘルパーの派遣・日常生活用具の給付を行った。 ①ホームヘルパーの派遣3件 ②日常生活用具の給付1件	難病患者が居宅において、日常生活を営むことができるようホームヘルパーの派遣・日常生活用具の給付を行った。 ①ホームヘルパーの派遣2件 ②日常生活用具の給付4件	難病患者が居宅において、日常生活を営むことができるようホームヘルパーの派遣・日常生活用具の給付を行った。 ①ホームヘルパーの派遣2件 ②日常生活用具の給付2件		

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	2,395	1,386	2,275	1,502	2,152	1,461	2,152		2,152	
	伸び率 (%)	-	-	-5.0%		-5.4%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	413	2,320	2,320	2,281	2,281	2,296	2,281		2,281
		非常勤職員									
	小計	413	2,320	2,320	2,281	2,281	2,296	2,281		2,281	
	国庫支出金	1,197	692	1,137	1,134	1,075	1,073	1,075		1,075	
	県支出金										
	市債										
	その他	1	0	1	0	1	0	1		1	
	一般財源(税等)	1,197	694	1,137	368	1,077	388	1,077		1,077	
所要人数	常勤職員	0.05	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		0.3		
	非常勤職員										

3 目標及び実績

指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	難病患者等ホームヘルプサービス受付件数			年度目標値				
				実績値	3	2	2	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
	難病患者等日常生活用具給付受付件数			年度目標値				
			実績値	1	4	2		
			年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	ホームヘルパー派遣対象者数			年度目標値	3	3	3	3
				実績値	3	2	2	
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	66.6%	66.6%	
	日常生活用具給付者数			年度目標値	11	11	11	11
			実績値	1	4	2		
			年度別達成度	9.0%	36.3%	18.2%		
			全体目標達成度	22.7%				
単位	人	全体目標値	11	全体目標達成度	22.7%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	国庫補助事業のため、現状のまま継続。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	